

平成22年度 長期給付積立金の運用状況

1 本連合会における長期給付積立金の運用

本連合会は、年金給付を円滑に行っていくために必要な総合収益の確保を目的として、安全かつ効率的な方法により運用を行うため、「長期給付積立金に関する基本運用方針」を定め、長期的な観点から策定した基本ポートフォリオ(※)に基づく資金運用を行っています。

※ 基本ポートフォリオとは、債券や株式のように特性の異なる複数の資産に分散投資し、リスク(*1)の水準をコントロールしながら、時価ベースの総合収益(*2)を確保するため、長期的な観点から資産構成割合を定めたもの

*1 リスク……収益率の変動の程度

*2 総合収益……時価(市場において、債券や株式が売買される価格)で算出した収益のことで、実現収益(実際に収入された収益)に未収収益(未だ収入されてはいないが発生している収益)の増減額と評価損益(取得時の価格である簿価と評価時の価格である時価の差)の増減額を加えて算出

2 運用の状況

(1) 運用形態別

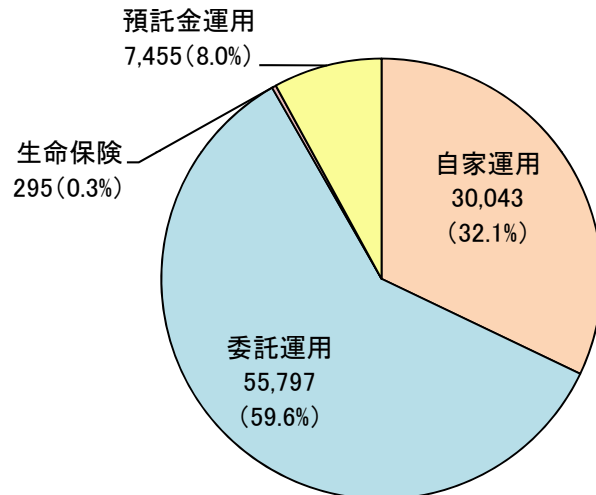
(単位: 億円)

	平成22年度末					(参考)平成21年度末				
	時価総額		簿価		評価損益	時価総額		簿価		評価損益
	構成割合		構成割合			構成割合		構成割合		
自家運用	30,043	32.1%	29,553	30.6%	428	30,660	32.2%	30,814	31.5%	△ 214
委託運用	55,797	59.6%	59,161	61.3%	△ 3,647	54,564	57.3%	57,092	58.3%	△ 2,767
生命保険	295	0.3%	295	0.3%	0	569	0.6%	569	0.6%	0
預託金運用	7,455	8.0%	7,452	7.7%	3	9,411	9.9%	9,409	9.6%	2
合計	93,590	100.0%	96,460	100.0%	△ 3,216	95,204	100.0%	97,884	100.0%	△ 2,979

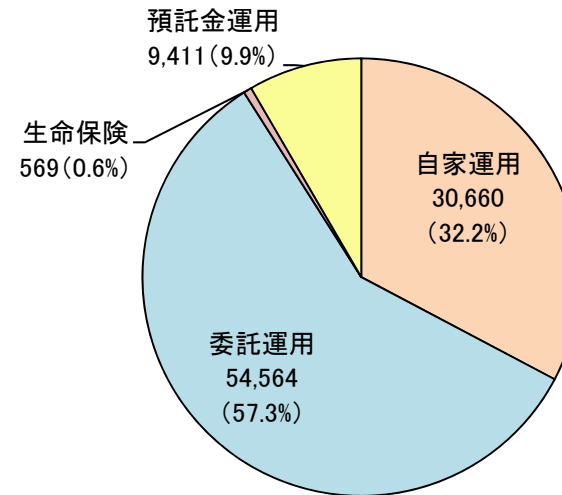
注 それぞれの項目は、単位未満について四捨五入しているため、必ずしも合計と一致しない。

※時価総額・・・時価に未収収益を含めた額

<平成22年度末時価総額>
93,590億円



<平成21年度末時価総額>
95,204億円



(2) 資産区分別

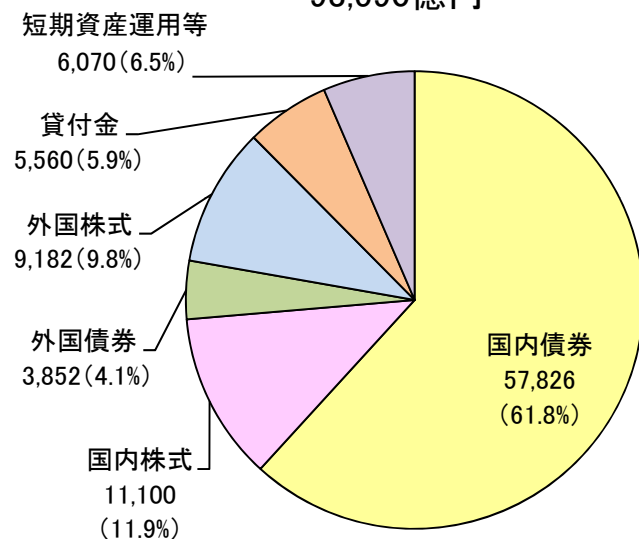
	平成22年度末					(参考)平成21年度末					(参考)	
	時価総額		簿価		評価 損益	時価総額		簿価		評価 損益	基本ポートフォリオ	
	構成割合	構成割合	構成割合	構成割合		中心値	許容乖離幅					
国内債券	57,826	61.8%	55,911	58.0%	1,756	62,970	66.1%	61,476	62.8%	1,326	63%	±6.0%
国内株式	11,100	11.9%	13,876	14.4%	△ 2,898	7,753	8.1%	9,813	10.0%	△ 2,130	12%	±5.0%
外国債券	3,852	4.1%	4,344	4.5%	△ 537	3,299	3.5%	3,635	3.7%	△ 382	5%	±3.0%
外国株式	9,182	9.8%	10,700	11.1%	△ 1,538	7,055	7.4%	8,834	9.0%	△ 1,794	9%	±5.0%
貸付金	5,560	5.9%	5,560	5.8%	0	6,628	7.0%	6,628	6.8%	0	6%	±3.0%
短期資産運用等	6,070	6.5%	6,069	6.3%	1	7,498	7.9%	7,497	7.7%	1	5%	±2.0%
合計	93,590	100.0%	96,460	100.0%	△ 3,216	95,204	100.0%	97,884	100.0%	△ 2,979	100%	—

注1 それぞれの項目は、単位未満について四捨五入しているため、必ずしも合計と一致しない。

2 基本ポートフォリオは、平成22年5月10日の改正後の基本ポートフォリオである。

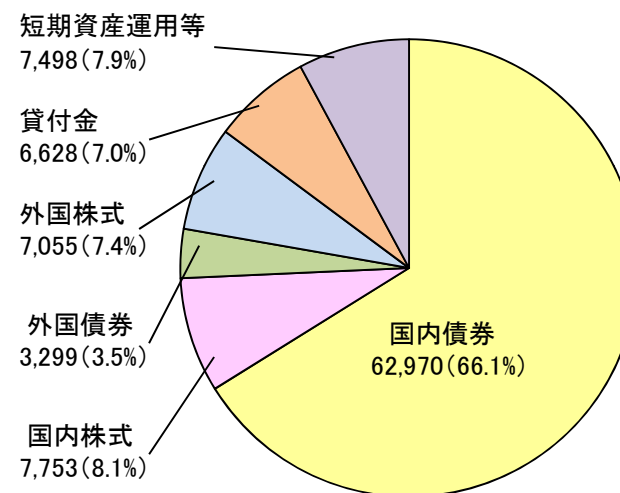
<平成22年度末時価総額>

93,590億円



<平成21年度末時価総額>

95,204億円



○平成22年度 資産区分別時価総額及び構成割合の推移

	平成22年3月末		平成22年6月末		平成22年9月末		平成22年12月末		平成23年2月末		平成23年3月末		(参考)	
	時価総額	構成割合	時価総額	構成割合	時価総額	構成割合	時価総額	構成割合	時価総額	構成割合	時価総額	構成割合	中心値	許容乖離幅
国内債券	62,970	66.1%	62,899	69.8%	61,441	66.5%	58,966	64.2%	58,448	62.9%	57,826	61.8%	63%	±6%
国内株式	7,753	8.1%	7,337	8.1%	8,588	9.3%	10,854	11.8%	12,033	12.9%	11,100	11.9%	12%	±5%
外国債券	3,299	3.5%	3,232	3.6%	3,364	3.6%	3,490	3.8%	3,759	4.0%	3,852	4.1%	5%	±3%
外国株式	7,055	7.4%	6,246	6.9%	7,182	7.8%	8,196	8.9%	9,072	9.8%	9,182	9.8%	9%	±5%
貸付金	6,628	7.0%	6,166	6.8%	5,978	6.5%	5,798	6.3%	5,661	6.1%	5,560	5.9%	6%	±3%
短期資産運用等	7,498	7.9%	4,273	4.7%	5,840	6.3%	4,545	4.9%	4,003	4.3%	6,070	6.5%	5%	±2%
合計	95,204	100.0%	90,153	100.0%	92,393	100.0%	91,849	100.0%	92,975	100.0%	93,590	100.0%	100%	—

注1 それぞれの項目は、単位未満について四捨五入しているため、必ずしも合計と一致しない。

2 平成23年3月末の時価総額及び構成割合は特殊要因である東日本大震災による変動があるため、平成22年12月末と震災発生直前の数値とが比較できるよう平成23年2月末を掲載している。

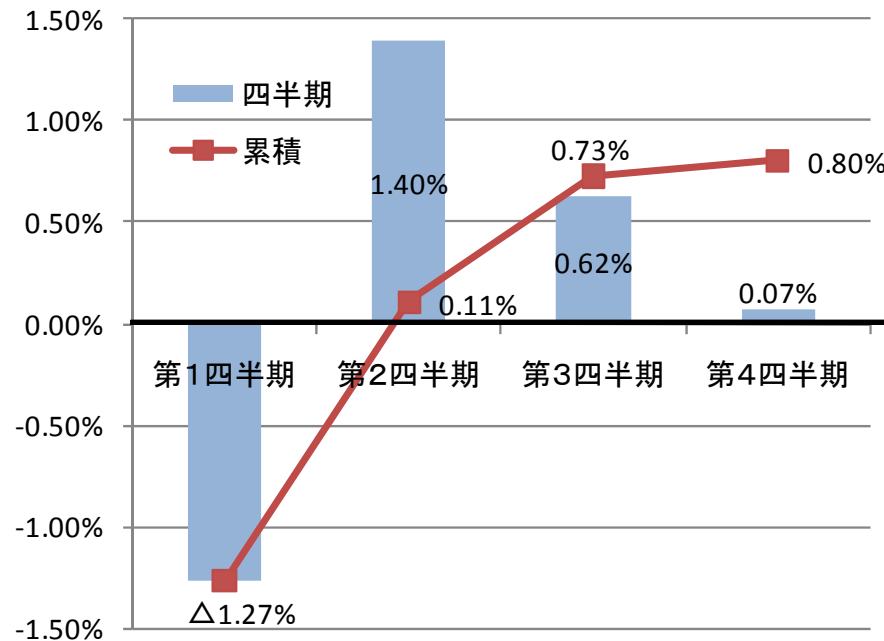
3 運用利回りの状況

<運用利回り>

	平成22年度	(参考)		
		平成21年度	平成20年度	平成19年度
修正総合利回り	+0.80%	+5.69%	△4.60%	△1.57%
総利回り	+1.03%	+1.07%	+0.65%	+1.54%

<平成22年度修正総合利回り>

+0.80%



$$\text{修正総合利回り} = \frac{\text{実現損益} + \text{未収収益増減} + \text{評価損益増減}}{\text{簿価平残} + \text{前期末未収収益} + \text{前期末評価損益}} \times 100(\%)$$

$$\text{総利回り} = \frac{\text{実現損益} + \text{未収収益増減}}{\text{簿価平残}} \times 100(\%)$$

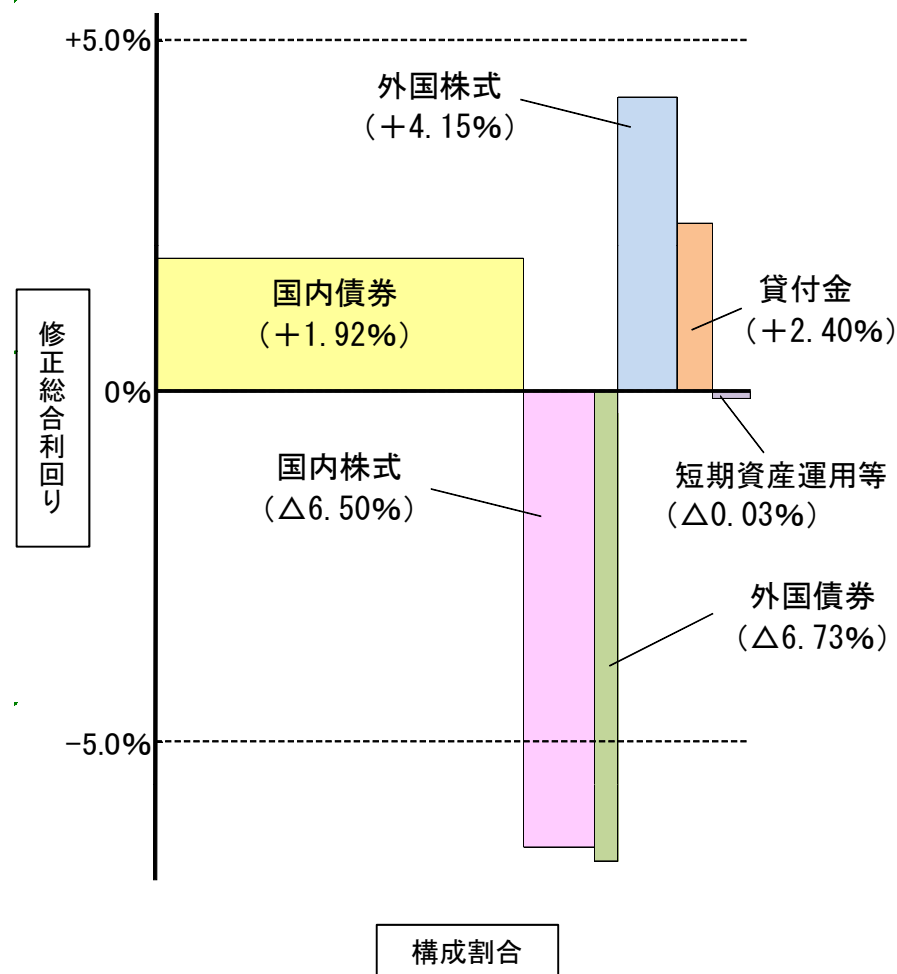
(1) 運用形態別修正総合利回り

	平成22年度	(参考) 平成21年度
自家運用	+2.31%	+0.59%
委託運用	△0.12%	+9.09%
生命保険	+1.10%	+0.86%
預託金運用	+2.12%	+1.85%
合計	+0.80%	+5.69%

(2) 資産区分別修正総合利回り

	平成22年度	(参考) 平成21年度
国内債券	+1.92%	+1.96%
国内株式	△6.50%	+32.80%
外国債券	△6.73%	+0.15%
外国株式	+4.15%	+45.54%
貸付金	+2.40%	+2.40%
短期資産運用等	△0.03%	+0.26%
合計	+0.80%	+5.69%

<平成22年度 資産区分別修正総合利回り>



○平成22年度 資産区分別修正総合利回りの推移

	第1四半期 (4~6月)	第2四半期 (7~9月)	第3四半期 (10~12月)	第4四半期 (1~3月)	平成22年度通期 (4月~3月)
国内債券	+2.43%	+1.08%	△0.82%	△0.90%	+1.92%
国内株式	△14.40%	△0.67%	+9.21%	△2.48%	△6.50%
外国債券	△7.90%	+2.61%	△6.38%	+4.57%	△6.73%
外国株式	△17.71%	+8.24%	+5.54%	+8.09%	+4.15%
貸付金	+0.60%	+0.60%	+0.60%	+0.58%	+2.40%
短期資産運用等	△0.09%	+0.05%	△0.01%	+0.03%	△0.03%
合計	△1.27%	+1.40%	+0.62%	+0.07%	+0.80%

4 委託運用機関の状況

(23年3月末現在)

ファンド種別		委託運用機関	資産管理機関
投資対象	スタイル		
国内債券	アクティブ	大和住銀投信投資顧問	三菱UFJ信託銀行
		野村アセットマネジメント	
		みずほ信託銀行	
		三井住友アセットマネジメント	
	りそな銀行		
	パッシブ	野村アセットマネジメント	三菱UFJ信託銀行
みずほ信託銀行			
三菱UFJ信託銀行			
国内株式	アクティブ	アライアンス・パースタイン	三菱UFJ信託銀行
		ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント	
		JPMorgan・アセット・マネジメント	
		ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ	
		住友信託銀行	
		アムデュー・ジャパン	
		DIAM アセットマネジメント	
		大和住銀投信投資顧問	
		中央三井アセット信託銀行	
		東京海上アセットマネジメント投信	
		みずほ信託銀行	
		三井住友アセットマネジメント	
		三菱UFJ信託銀行	
	りそな銀行		
	パッシブ	中央三井アセット信託銀行	同左（指定包括信託）
みずほ信託銀行		同左（指定包括信託）	
外国債券	パッシブ	みずほ信託銀行	同左（指定包括信託）
		りそな銀行	同左（指定包括信託）
外国株式	アクティブ	アライアンス・パースタイン	三菱UFJ信託銀行
		EMEFES・インベストメント・マネジメント	
		ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント	
	パッシブ	ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ	中央三井アセット信託銀行
		住友信託銀行	同左（指定包括信託）
中央三井アセット信託銀行	同左（指定包括信託）		
リバランス	パッシブ	住友信託銀行	同左（指定包括信託）
		16社	5社

※ アクティブ運用とは、ベンチマーク（市場全体の動向を表す指数）を基準としつつも、銘柄構成やその時価構成割合をベンチマークと異なるものとすることにより、ベンチマークを上回る運用収益を目指すもの

※ パッシブ運用とは、銘柄構成やその時価構成割合をベンチマークと同様にする事により、ベンチマークと同程度の運用収益を目指すもの